



連日のギラギラ太陽・・・熱中症警戒アラートも毎日のように発出されています。ひと昔前は、クーラーを給食の時間とお昼寝の時間に使えば、一日快適に過ごすことができました。それが今では朝から・・・いえいえ、夜も含めて24時間使わなければ熱中症になる可能性が高い状況になってきています。

子どもは地面からの距離が近いため、大人よりも暑さを感じています。夏ならではの海水浴や水遊び、虫取り・・・いろんなことを体験して欲しいと思いますが、しっかり暑さ対策をし、水分補給や休息をとることを忘れないことが大切ですね。

保育園ではプールの上には日よけネットを張って直射日光が当たらないようにしています。これからまだまだ気温が高くなる日もあるでしょう。毎日WBGT値（暑さ指数）の確認をし、危険数値のときにはプール遊びを含め園外には出ないようにします。車の中の暑さは尋常ではありません。寝ているからと子どもを車の中に残したまま離れることは、エアコンをかけていても絶対に止めましょう！！

♪3年ぶりのなつまつり 楽しみです♪

おまつりらしいものを食べたり、出店でヨーヨー釣りやゲームをしたり、職員の出し物（3回公演です♪）を見たりなど、園内をご自由にお回りください。
なつまつりは9時のぶどう組の和太鼓から始まります。子どもたちは日頃からぶどう組が叩く太鼓を見ていますので、皆さんが必要9時に間に合うように来られなくても大丈夫です。9時開始、10時半終了ですので、ご都合のいい時間にお出かけください。（お店は9時15分開店・10時15分で閉める予定です）

◎なお、駐車場・駐車可能台数の関係上、一家族必ず一台の車でのご来場をお願いします。
コロナ前に比べると内容は縮小気味ではあります、のんびり園内を回っておられる間には、子ども同士の交流の様子もきっと見ていただけるのではないかと思います。どうぞお楽しみにお出かけくださいね。

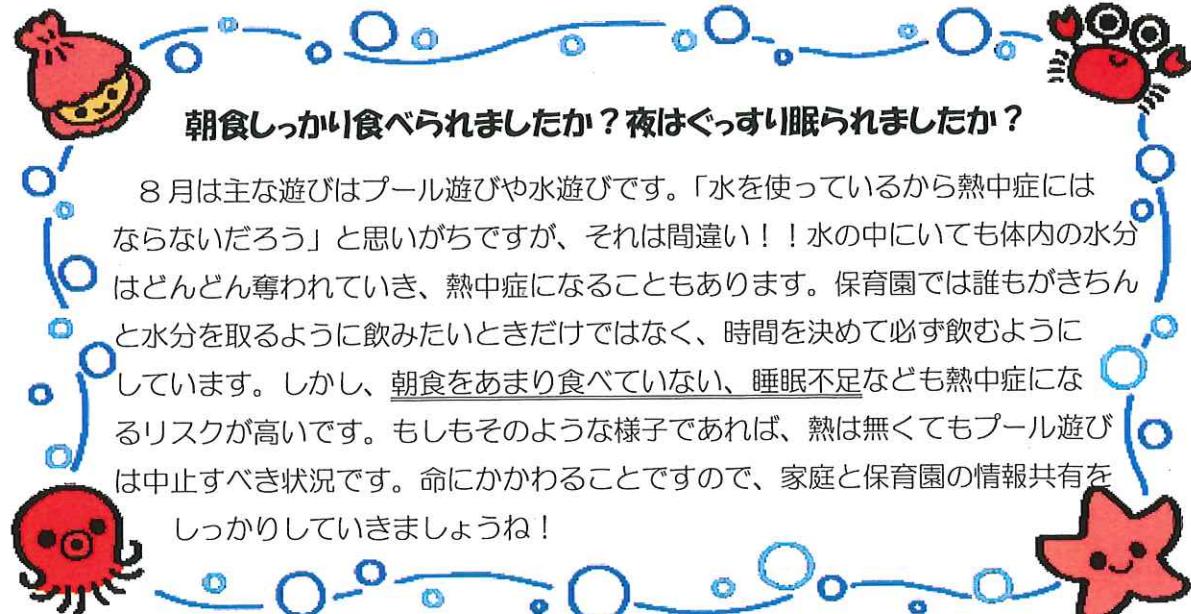


5日(土) なつまつり

14日(月)~16日(水) 夏季希望保育（申し込みの方）

19日(土) 国富まつり（ぶどう組和太鼓参加）

23日(水) 誕生会



よく泣く子への理解と接し方（保育雑誌より）

「泣く」という表現は、強い感情を外に放出し気持ちを落ちさせる働きがあります。子どもは、安心・信頼できる人に対して、泣き、受け止められ、理解してもらい、なぐさめてもらうことによって、成長するうえで欠かせない安心・安全の感覚を得ることができます。子どもが泣いたときに「もういい加減にして！」などと突き放すと混乱してもっと大きな声で泣いてしまいます。

よく泣く子には、面倒がらずにその都度温かいまなざしを向け、「嫌なんだね、悲しかったんだね」・・・泣いている気持ちに寄り添い、一緒に問題解決をしたり、大きくなってくれば子ども自身による問題解決を見守ったりしましょう。そうすることで子どもは少しずつ、自らの感情をコントロールし自分で収める方法を学んでいきます。なんで泣いているのかわからない時には、「大丈夫！分かっているよ」とか「大好きだよ」と言ってぎゅっと抱きしめてあげるだけでも安心することも多いです。

夏季の肌着着用について

「汗を吸い取るので肌着は着たほうがいい」「暑くて余計にあせもが出そう」・・・いろんな意見があります。園内でも話をしましたが、子どもの様子を見ていると肌着を着ない方が汗ばむことが少なく快適な様子ということでした。綿100%のTシャツであればそれを1枚着て、汗が出るごと着替えたほうが気持ちがよさそうです。Tシャツを購入される際は、綿100%のもので通気性の関係上プリント部分が無い、又は少ないものを選ぶといいですね。

保育園では暑い時期は肌着を脱いで調整したいと思います。肌の関係で肌着着用の希望がある方は連絡帳でお知らせください。（肌着を着ずに登園されてもいいですよ）気候に応じて、涼しくなれば着用して過ごしたいと思います。

